



1. 活動日時：2016年3月26日（土） 10：00～15：00

2. 参加者：8名（社友GS 7名・現役GS 1名：金井さん）

3. 活動内容

- ・当初予定した計画は、伐り残した間伐予定木の除伐と、基地に引き降ろしている間伐材の炭焼きの材と、シイタケの楯木への切り分けでした。
- ・間伐予定木は全て伐採できましたが、切り分け作業の効率を上げるために持ち込んだ切断機と、チェーンソー1台に不具合が出たため、木の切り分けは、シイタケの楯木を30本ほど用意できただけで終わりました。
- ・何はともあれ、生木の扱いは、伐るのも、運ぶのも、断裁するのも力仕事で、筋肉痛になった方もおられたと思います。参加いただいた8名の皆さん、本当にお疲れ様でした。

4. 次回の活動

- ・4月第2土曜日（9日）は、今回のフォローで、間伐材を、炭の材とシイタケの楯木に切り分けます。
- ・炭の材は、神於山保全くらぶの炭焼きチームの方とのコラボで炭にすることになると思いますが、植林した木で炭を焼くのも、シイタケの楯木を作るのも、チーム神於山の目的に掲げた「人と自然の共生の歴史・文化の継承に繋がる活動」そのもので、神於山では「チーム神於山」が初めてだと思います。
- ・これからも誇りを持って活動したいと思います。

■作業風景と午前の部の集合写真。 全員で作業に取り組んだため、作業中の写真は余り撮れませんでした。



貴重な作業風景。伐り残した間伐対象木を、木の傾きとは逆方向に倒す為、土居さんと北浦さんが大奮戦です。



午前の部を終えて、きれいに咲いたヤマザクラを背景に一枚。

- ・ヤマザクラは、木によって花弁が白に近いものからピンクのものまで色々ですし、咲く時期も少しずつ違うので長く楽しめます。また、ほぼ同時に新芽も芽吹きますから、若葉も楽しめます。
- ・写真のヤマザクラは、シャープの森の境界線の尾根道に沿って自生しているもので、色はピンクがかった白で、どのヤマザクラよりも早く満開に近い咲き方をしています。
- ・昼は、久しぶりに持ち寄りバーベキューをしました。
- ・原さんが朝掘りのタケノコを持参されたので、焼きタケノコにして頂きました。みんなマイウーで完食しました。
- ・またやろうと思っていますのでお楽しみに。

■午後の作業を終えての集合写真。

第一次ですが予定した間伐が年度内に完了できたので、ほっと一息です。

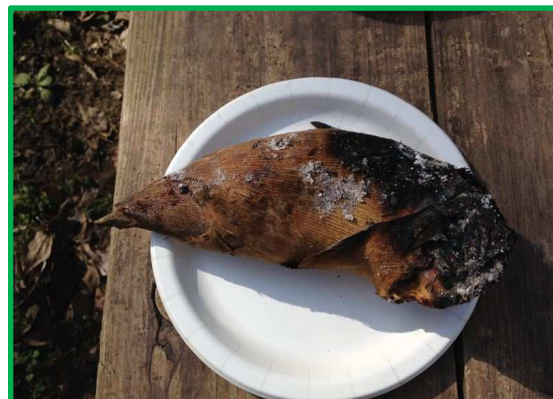


シイタケの榾木用に切り分けた材を前にして。

- 10 年前に植林したクヌギ・コナラ・ヤマザクラが、炭やシイタケの榾木に出来るほどに育ってくれました。感無量です。
- 上の写真は、シイタケの榾木用に切り分けたクヌギとコナラです。合わせて 30 本ほどあります。
- まだ細断していない間伐材からも相当用意できそうですが、取りあえず次回の活動日には、シイタケの菌コマを打ち込む作業もしたいと思っています。 また収穫が楽しみです。



今回も、結構良いものが収穫できました。



焼きマツタケならぬ焼きタケノコ。

■フクロウの棲む森づくり関連。

観察体制は整いました。

あとは朗報を待つだけです。



巣箱を架けた木に、蛇除けのビニールシートを巻きました。



外部観察用のトレイルカメラもセット。



巣箱の中の上下のカメラの映像は pc に録画します。

- 去年は 2 羽の雛が巣立ちました。今年はどうか？期待が膨らみます。

以上